

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	日本文学	
科目基礎情報							
科目番号	4EG04			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気電子工学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	適宜必要な資料及びプリントを配布する。						
担当教員	鴨川 都美						
到達目標							
1 優れた日本文学に数多く触れることで柔軟な感性を養う。 2 作品を正確かつ豊かに読み味わい、独自の解釈を持てるようにする。 3 作品に対して作り上げた解釈を、自身の言葉でわかりやすく表現できることをめざす。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	読後に主体的な読みを豊かに作り上げられる。		読後に主体的な読みを作り上げられる。		読後に主体的な読みを作り上げられない。		
評価項目2	描写の美しさ、展開の面白さに興味を持ち、鑑賞できる感性を持てる。		描写の美しさ、展開の面白さに興味を持つことができる。		描写の美しさ、展開の面白さに興味を持つことができない。		
評価項目3	自分が作品に対して持った解釈や感想を、豊かに表現することができる。		自分が作品に対して持った解釈や感想を、表現することができる。		自分が作品に対して持った解釈や感想を、表現することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	数多くの日本文学に触れ、作家や作品の面白さを知ることが第一の目標とする。昨今、大学でも高校でも長編を扱うことができにくくなっているが、読まれなくなった長編小説の魅力にも気づき、自ら読書するきっかけを獲得する場にしてもらいたい。そのうえで、日本文学の特色を見出し、魅力を味わい、日本語表現の美しさに触れながら自らの表現力をも高める場とすることをねらいとする。						
授業の進め方・方法	林真理子「二十代に読みたい名作」(文藝春秋、2002年)を導入に用いつつ、作家のプロフィールや作品のいくつかをダイジェストで紹介する。取り上げたものの中から一つの作品について自身の読み方、理解のし方を執筆し、レポート提出することを課す。						
注意点	各回の授業への参加度40%、レポート60%で評価する。60点以上を合格とする。必要に応じて再試験相当の課題を出す。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業の進め方、取り組み方、レポートに取り掛かるタイミングについて理解を得ておく、		
		2週	宇野千代「おはん」ほか		作家の生まれ、育ち、人生観、作風の特徴などについて知識を得る。。		
		3週	宇野千代「おはん」ほか		作品に触れ、描かれた人物との出会いを通して自己の視野を広げる。自分はどう読むか、主体的に独自の読み方を作り上げていく。		
		4週	太宰治「斜陽」ほか		作家の生まれ、育ち、人生観、作風の特徴などについて知識を得る。		
		5週	太宰治「斜陽」ほか		作品に触れ、描かれた人物との出会いを通して自己の視野を広げる。自分はどう読むか、主体的に独自の読み方を作り上げていく。		
		6週	村上春樹「ノルウェイの森」ほか		作家の生まれ、育ち、人生観、作風の特徴などについて知識を得る。		
		7週	村上春樹「ノルウェイの森」ほか		作品に触れ、描かれた人物との出会いを通して自己の視野を広げる。自分はどう読むか、主体的に独自の読み方を作り上げていく。		
		8週	三浦綾子「氷点」ほか		作家の生まれ、育ち、人生観、作風の特徴などについて知識を得る。		
	2ndQ	9週	三浦綾子「氷点」ほか		作品に触れ、描かれた人物との出会いを通して自己の視野を広げる。自分はどう読むか、主体的に独自の読み方を作り上げていく。		
		10週	三浦哲郎「忍ぶ川」ほか		作家の生まれ、育ち、人生観、作風の特徴などについて知識を得る。		
		11週	三浦哲郎「忍ぶ川」ほか		作品に触れ、描かれた人物との出会いを通して自己の視野を広げる。自分はどう読むか、主体的に独自の読み方を作り上げていく。		
		12週	谷崎潤一郎「細雪」ほか		作家の生まれ、育ち、人生観、作風の特徴などについて知識を得る。		
		13週	谷崎潤一郎「細雪」ほか		作品に触れ、描かれた人物との出会いを通して自己の視野を広げる。自分はどう読むか、主体的に独自の読み方を作り上げていく。		
		14週	レポート執筆について		文学論の執筆例などをサンプルにした説明を聞き、文学の論じ方について理解する。		
		15週	レポート執筆について		各自が執筆した作品論を相互に読み合い、批評し合う。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	前6	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	前3,前6	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	前8,前9	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前1	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	前1,前2	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	前1	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	前1,前13	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	前10,前11	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	前12,前13	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	前14,前15	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	前14,前15	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	前14,前15	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	前14,前15	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	前14,前15	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	前14,前15	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	0	60
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20